

think globally, act locally



近藤 だいすけ

神奈川県議会議員

41歳
無所属

twitter でフォローして下さい!

逗子葉山だいすけ

www.kondo-daisuke.jp



近藤だいすけ、無投票当選。 県議会議員2期目をスタート!

4/10に行われた神奈川県議会選挙で近藤(逗子・葉山選出)は対立候補なく無投票で当選が決まりました。この事は、大地震の影響があり新人候補が立候補しにくかったと考えています。慢心せず、愛する逗子葉山が変われば神奈川が、ひては日本が変わるという信念のもと活動してまいります。引き続きご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

近藤だいすけ 41歳

'98~'06 逗子市議会議員(3期4選) '07~神奈川県議会議員
家族: 妻・一男・一女 / 身長: 187cm / 体重: 73kg
星座: 山羊座 / 血液型: O型 / 趣味: 釣り・音楽鑑賞・料理
特技: ドラムが叩ける・潜水で50m泳げる

think & act vol.13 近藤だいすけ神奈川県議会ニュース
発行部数40,000部 / 発行日2011年4月29日 / 配布地域: 逗子市・葉山町
近藤だいすけ事務所 〒249-0006 神奈川県逗子市逗子3-6-7
Tel/Fax: 046-873-8744 E-mail: daisuki@kondo-daisuke.jp

think & act

vol.13

5/13 (金)

第2回緊急タウンミーティングを開催します!!

神奈川県議会ニュース



緊急タウンミーティングにご参加ありがとうございます。

4/17のフォーラムには50名ほどの方々に参加いただきました。お忙しい中足をお運びくださりありがとうございます。みなさまより様々なご意見を頂き、とても有意義な会となりました。引き続き逗子でも同様のタウンミーティングを開催し、より多くの方のご意見を頂戴したいと思います。お誘い合わせの上ご参加下さい。

逗子葉山で想定される災害の実態とは? その時、何が出来る?

5/13(金) 逗子で緊急開催

『私たちの逗子葉山を守るために vol.2』

4/11 近藤は逗子葉山の有志とともに宮城県被災地へ支援物資を届けに行きました。そこで目にしたのは巨額の税金を投入して作った防波堤が機能せず、壊滅状態になってしまった町の姿。しかし、その一方で避難所では日頃から住民同士が協力し合い、避難訓練を重ねてきたことでたくさんの命が救われたという話しが印象的でした。『行政任せの防災では私たちのまちは救えない、防災は私たち一人一人の問題』と痛感しました。

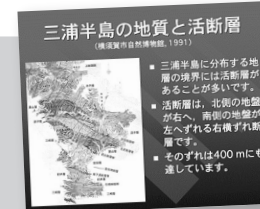


この逗子葉山でも今後30年のうちにM7相当の地震が発生すると言われています。その時、何が起るのか?そして今日からどうやって備え、また実際に起きたときにどうすればいいのか?この2点について専門家の意見を踏まえ、みなさまと共に考え、共有していきたいと思ひます。

ミニ講演

『東日本大震災の緊急報告から
相模湾岸地域の減災を考える』

蟹江康光氏 / 三浦半島活断層調査会顧問



被災地の支援報告

武藤次郎氏 / 逗子葉山発支援隊メンバー・逗子マリン連盟

トークと質疑応答

時間: 19:00~20:30

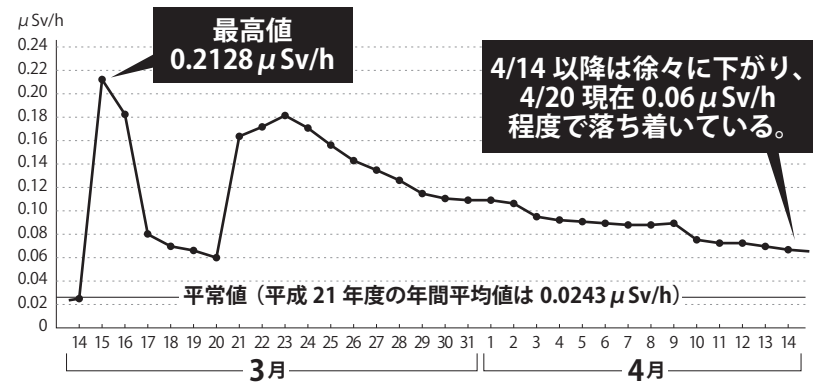
会場: 逗子文化プラザさざなみホール
参加無料 / 申し込みは必要ありません。

主催: 近藤だいすけ事務所
問い合わせ: TEL 046-873-8744
E-mail: office@kondo-daisuke.jp

神奈川県内の放射線等の情報(大気、水道水、食品など)

神奈川県がホームページに公開しているデータをまとめてご報告します。

環境放射線量の推移(横須賀ハイランド局での3/14~4/14における日別最大量)



神奈川県安全防災局危機管理課 環境放射線モニタリングシステム <http://www.atom.pref.kanagawa.jp/>

県内の農地用土壌の放射能濃度について

採土日	土壌の採取場所/形態	放射性セシウム Bq/kg
3/25	平塚市/露地畑	72
3/25	相模原市/露地畑	202
3/25	三浦市/露地畑	67
3/25	海老名市/露地畑	139
3/30	小田原市/果樹園	97

*放射性セシウムの値はセシウム134とセシウム137の合計
*採取場所は神奈川県農業技術センターの本所及び支所のほか *検査機関:(独)農業環境技術研究所

神奈川県では、川崎市内、横須賀市内、茅ヶ崎市内にモニタリングポストを設置し、常時、環境放射線を監視しています。4月後半より測定値は、0.05-0.1 μSv/hの範囲で推移していますが、仮に0.1 μSv/hの状況で1年の間ずっと屋外にいたとしても、合計の放射線量の876 μSv(1人あたりの年間自然放射線量の世界平均2,400 μSvの1/3程度)で、健康に影響のないレベルです。

神奈川県は県内の農用地土壌の放射能濃度について、農林水産省消費・安全局の協力を得て、検査を実施。測定値は左記表の通りとなり、原子力災害対策本部が水稻の作付制限を行うこととした土壌の放射性セシウム濃度の上限値 5,000 Bq/kg 以下の数値でした。このことから、県内の水稻の栽培については、作付けを制限する必要はないと判断しています。(平成23年4月8日)

県内で生産された食品の放射能濃度 (Bq/Kg)

採取日	種類/産地	放射性ヨウ素	放射性セシウム
4/20	原乳/平塚市・伊勢原市	1.0	不検出
4/18	原乳/大磯町	1.0	不検出
4/4	原乳/大磯町	3.4	不検出
4/1	原乳/海老名市	3.2	不検出
3/30	原乳/秦野市	1.1	不検出
3/28	原乳/伊勢原市	2.1	不検出
3/24	原乳/湘南	9.6	不検出
4/19	小松菜/海老名市	不検出	21
4/12	ほうれん草/横浜市	不検出	25
4/12	小松菜/横浜市	不検出	35
4/12	小松菜/海老名市	不検出	56
4/4	ヒジキ/三浦市	9.48	不検出
4/4	ヒジキ/三浦市	216	不検出
4/5	ほうれん草/川崎市	150	21.9
4/5	ほうれん草/厚木市	240	175
4/5	ほうれん草/海老名市	86	25.5
4/5	小松菜/海老名市	47	98
3/29	小松菜/平塚市	130	108
3/29	ほうれん草/大井町	1,000	136
3/29	ほうれん草/海老名市	650	139
3/23	小松菜/茅ヶ崎市	540	117
3/23	小松菜/横浜市	530	41
3/23	ほうれん草/相模原市	1,300	185
3/23	ほうれん草/藤沢市	600	47
3/21	ほうれん草/平塚市	1,700	230
3/21	ほうれん草/海老名市	670	152
4/26	ナマコ/横浜市	2.9	1.7
4/26	マサバ/小田原市	不検出	1.2
4/18	アサリ/横浜市	44	不検出
4/11	マイワシ/小田原市	1.6	1.8
4/11	ナマコ/横浜市	7.2	不検出

神奈川県内で生産された農畜水産物について検査を行いました。5/4までに、69検体の放射能濃度の検査を実施しました。測定値はいずれも食品衛生法の暫定規制値を下回るものであり、健康に影響を与えるものではありません。

県営水道浄水場における浄水の放射性ヨウ素濃度 (Bq/kg)

採水日	西長沢浄水場	相模原浄水場	伊勢原浄水場	谷ヶ原浄水場	寒川浄水場	綾瀬浄水場
3/16	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
3/22	不検出	不検出	不検出	不検出	67.8	13.7
3/23	9.2	18.4	14.1	不検出	51.8	55.7
3/24	不検出	12.5	9.2	不検出	10.3	21.4
3/25	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出

以降全ての浄水場で不検出(放射性セシウムは3/16~全ての浄水場で不検出です。)

原子力安全委員会が定める飲食物摂取制限に関する指標値は、放射性ヨウ素 300Bq/kg、放射性セシウム 200Bq/kg。ただし、1歳未満の乳児については放射性ヨウ素が100Bq/kgを超える場合には、水道水の摂取を控える必要があります。神奈川県営水道ホームページ <http://www.pref.kanagawa.jp/osirase/kigyosomu/>

県営水道では、東北地方太平洋沖地震により、原子力発電所における放射性物質の漏洩事故が発生したことから、測定機器を保有する横須賀市上下水道局の協力を得て、臨時に水道水の放射能濃度の測定を実施しました。測定値は、健康に影響のあるレベルではありませんので、日常生活上、特別の対応をとる必要はありません。

県内海水の放射能濃度測定について

県では、神奈川県内の海水の安全性を確認するため、4/12(火)に県内の海水を採取したうえ、放射能濃度について測定し、放射能が検出されないことを確認しました。海水浴シーズンに向けて、引き続き県内の海水の安全性を確認するため、県内海水浴場周辺の海水について、市町と連携して放射能濃度を測定することになりました。測定は5/9~8/22の毎週月曜日、県内27箇所の海水浴場周辺の7箇所程度で採水し行われます。各海水浴場ごとに毎月1回測定します。



被災地の支援・復興は市民力がキーワード！ 私たち一人一人の思いと行動力が欠かせません。

市民活動のフットワークの良さは目を見張る物があります。メディアで報道されているので、ご存知かと思いますが、行政の配給は公平性が重要視されるため、支援物資がたくさんあっても、それが被災者の手元に渡るまでに時間がかかってしまいます。義援金の一時支払いについても同様に、役所も被災しているので、対応が出来ずに困っているというのが現実です。それに比べ NPO・NGO や市民団体は現場のニーズに応じて柔軟に対応できるのです。

逗子葉山のみなさまから預かった支援物資については、NPO 法人「ON THE ROAD/ オンザロード」に託し、日本各地から集まったボランティアの力を借り、被災者へと届けることが出来ました。現地でフルーツなどの生鮮食品が求められているという情報が直前に入り、約200個の夏みかんと約100個のキャベツを届けましたが、これも炊き出して配られ、とても喜ばれていたという報告を受けました。



4/11日 NPO 法人「ON THE ROAD/ オンザロード」が宮城県大崎市に開設するボランティアビレッジ (<http://saigaishien.jp/>) に支援物資を届けました。逗子葉山の皆様から頂いた物資は、最終的に写真にある2tトラック満載とバン乗用車後部満載となりました。あらためて感謝申し上げます。

皆様からのご意見を、お待ちしております。

お名前	ご住所
TEL	FAX
E-mail	@
ご意見など	



FAXにてご送信ください。
FAX 番号 046-873-8744

ボランティア募集

ご近所への議会ニュースのポスティングなど、近藤だいの活動をサポートして下さる方、大募集中です。TEL・FAX・E-MAILでご連絡下さい。よろしくお願い致します。

